

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：令和元年7月19日

名称	令和元年度第1回鹿沼市環境審議会		
日時	令和元年7月17日(水) 午後2時00分～3時00分		
場所	市役所本館2階 特別会議室		
出席者	別紙のとおり		
内容及び 結果等	1 開会(司会：松本課長補佐)		
	2 会長あいさつ(鈴木会長)		
	3 議題(進行：鈴木会長)		
	(1) 報告事項		
	ア 第4次環境基本計画の平成30年度実績について		
	イ COOL CHOICEの取組について		
	(2) その他		
	4 閉会		
配布資料	別紙のとおり		
次回予定	10/30 第2回環境審議会		
記録者	湯澤		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0人

令和元年度第1回鹿沼市環境審議会会議記録

委員氏名	鈴木	廣田	大出	松島	富久田	石川(さ)	福田(義)	佐藤	早乙女	青木	石川(明)	橋本	大塚	福田(七)	渡邊
出欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	代	○	欠	欠	○	欠	○

【事務局】

- 事務局……金子部長、黒川課長、松本課長補佐、羽石主任主事、加藤主事、湯澤主事、水野主事
- 環境課……大貫係長
- 廃棄物対策課……麦倉課長
- 下水道課……奈良課長
- 下水道施設課……藤田課長

1 開 会

2 会長挨拶

当審議会の富久田委員が先日亡くなられた。ご功績を偲び、ご冥福をお祈りする。先日、九州南部では1か月分の雨が1日で降るといふ災害級の大雨があった。昨年は、猛暑が続き災害級の暑さと言われていたが、大変地球がおかしくなっているように感じる。これはやはり、地球温暖化の影響、環境の変化から来るのではないかと思う。私たちが住んでいるこの地球を、いつまでも住みやすい地球にしていくためには、子々孫々まで良好な地球を維持し伝えることが非常に大切であることは皆さんも思っている事だろう。そういった意味で、この審議会も良好な地球を保つための目的があるので、活発な議事進行となるよう皆様の沢山の御意見を頂きより良いものにしたい。

3 議 事

(1) 報告事項

ア 第4次環境基本計画の平成30年度実績について

事務局：《湯澤主事が資料1により説明。》

廣田委員：事前質問の回答として、全体を対象とした環境講演会から個別を対象とした環境学習講座にシフトしていくと説明があったが、2ページの50番「環境学習講座（基礎課程）の受講者数」の実績は年々減っている。環境学習講座にシフト

していくという説明からは離れていっているのではないか？また、52 番の「地域別学習講座の開催数」の実績で 1 件となっているが、どのくらい参加していたのか？

事務局 : 50 番の環境学習講座の基礎課程は、幅広いテーマとして一般の方に広く募集をかけているが、参加者が年々減っている現状がある。そういったことをふまえて、それぞれの対象に向けて内容を変えていく方法にシフトをしていく考えである。特に幼児教育については、52 番の地域別環境学習講座でも実施しているが、親子を対象として各地区で講座を開催するなど、より興味関心を持って参加をしていただけるような講座を推進していく予定である。52 番の地域別環境学習講座の参加人数については、昨年まちなか 3 地区を対象とした講座を実施したが、親子で 20 数名が参加した。今年度においては、5 月に西大芦・東大芦地区を対象とした講座では親子 20 名が参加、そして今週末に開催する東部台地区を対象とした講座では、17 組 39 名の親子が参加予定である。

鈴木会長 : 何か質問等あるか？報告のとおり了解すると言うことで良いか？

一 同 : 《異議なし。》

イ COOL CHOICE の取組について

事務局 : 《湯澤主事が資料 2 により説明。》

石川委員 : 絵本についての質問だが、冊子のような簡単なものを作成するのか、しっかりした絵本にするのか、また、どのくらい作成するのか、お聞かせください。

事務局 : 絵本の使用についてだが、ハードカバーでしっかりとしたもので、24 ページ程度の絵本を考えている。部数については 800 部製作し、保育園等に配布する予定である。

石川委員 : 環境学習に活用するとのことだが、紙芝居の形式だと絵本に比べ多い人数に読み聞かせができると思うが、どうか？

事務局 : 委員のおっしゃる通り、紙芝居という形式も環境学習に活用しやすい形である。実は、平成 28 年度に紙芝居を製作し鹿沼市内の全園に配布しているので、今回は絵本形式とした。

大出委員 : 自宅に冷暖房を導入する際、部屋の大きさに対しどの程度の能力の機器を買えばいいか、また、風向きや温度設定など空調の使い方はどのようにすれば省エネ効果が高いかなど、一般の消費者はわからない方が多いだろう。そういったことを啓発する内容はどうか？

事務局 : 今回の事業の 1 つに「省エネ家電と省エネ住宅の PR」がある。事業の内容としては、チラシ作成や環境学習講座を予定している。その中で、委員からご提案いただいたような、空調機器の選び方や省エネ効果の高い使用方法など、各家庭での地球温暖化対策をより強化していただけるような内容を取り入れ、これからの事業を進めていきたい。先ほどもお話ししたが、市の環境教育の考え方として、それぞれの対象に向けた内容でより効果の高い環境学習を行いたいと考えているので、より興味関心を持たれている内容で効果の高い学習をして

いただけるような講座づくりを進めていく。

鈴木会長：他に質問はあるか？報告のとおり了解すると言うことで良いか？

一 同：《異議なし。》

(3) その他

大出委員：生き物図鑑の発行はどのぐらいの時期になるか？

事務局：生き物図鑑の発行は、来年度の4月に印刷をかけ夏休み前には配布することを予定している。

事務局：事務局からの提案だが、海洋プラスチック問題や地球温暖化などの問題から、プラスチックごみの削減は非常に重要な課題と認識している。市としても、全庁的にマイボトルの持参を推進しているところであり、今後は各種会議でのペットボトル飲料の提供を自粛するよう呼び掛けていく。これまで、当審議会においてもペットボトルのお茶を準備してきたが、皆様の御理解と御協力を頂きながら、マイボトル等を御持参いただいてプラスチックごみ削減に取り組んでいきたいがどうか？

鈴木会長：事務局から提案があったが、ご意見等はあるか？

渡邊副会長：これは環境審議会だけでなく、全庁的なものになるのか？

事務局：まずは環境部から始めようということ提案させていただいたが、全庁的に進める形で他部局にも提案していく。市が主催する会議等は、会議時間や夏場の暑さ等で用意せざるを得ない場合もあると思うが、できるだけマイボトルを利用していただきプラスチックごみ削減の取組を進めていきたい。

鈴木会長：コミセンも同様に取り組むのか？

事務局：強制的に一律で取り組むというわけではないが、市として全庁的に取り組むよう環境部から提案をしていく。

松島委員：燃やすごみの中のプラスチックごみの割合が増えているという事があつての取組でもあると思うが、プラスチックごみの割合はどのくらいなのか？また、今回は事務局からの提案という形だったが、市民側から発案して広げていくことができれば一番いい形だろう。行政からのお願いで取り組むよりも、市民が問題意識をもって自主的に取り組むことができれば活動をより浸透させることができると思う。

渡邊副会長：会議開催の通知に、マイボトルを持ってきてくださいと何か入れたほうがいいだろう。

事務局：他部局に提案する際、通知文章のサンプルを提示するようにする。

大出委員：プラスチックごみ削減のための取組という事でいいことだと思うが、その趣旨を広報などでお知らせをした方がいいと思う。経費削減のためと勘違いされてはもったいない。問題意識を持ってもらえれば取組みは広がるだろう。

大塚委員：ごみ減量としての取組なのか、プラスチックごみ削減としての取組なのかどちらか？

事務局：どちらの意味合いとしても進めていくが、プラスチックを使わないという事が

重要と考えている。

大塚委員：海洋プラスチック問題が騒がれているが、海に出たマイクロプラスチックは海洋汚染もそうだが、最終的に人体に取り込まれて被害を及ぼす。そういったことが世界的な問題としてあるので、ごみ減量という目線ではなく、プラスチックごみを無くすという目線を知らせていかないと、事業がうまく進んでいかないと思う。

鈴木会長：しっかりと取組の意味を理解してもらいながら進めてもらいたい。

事務局：先ほどの、燃やすごみの中のプラスチックごみの割合はどのくらいなのか？との質問に対しての説明をさせていただくが、平成30年度では燃やすごみの中の約20%がプラスチックごみであり、基準年次の平成25年度はプラスチックごみの割合は約12%に対して増えてしまっている。プラスチックごみ削減や市の温室効果ガス排出量の削減など様々な課題への取組として、市民全体の取組として進めていけるよう啓発等を行っていく。

4 閉 会